



地域に向けてひとこと

地域に生きる大学は、教育・研究活動はもちろんのこと社会貢献・地域貢献に対し非常に高い意識を持っています。地域と大学との連携探索や地域や組織の特徴の明確化に向けた調査・解析についてぜひご相談ください。

内島 典子

Uchijima Fumiko

教授 ・ 博士（工学）

地域に向けてできること

訪問講義

小中
学校

高校

一般
企業

「ブランド」意識はどのように構築されるのか。ブランドの構築と育成の大切さについてお話しします。

研究室見学

小中
学校

高校

一般
企業

科学・ものづくり教室

小中
学校

高校

一般
企業

技術相談

産学官連携活動の評価、組織「らしさ」の明確化のための評価分析についてご相談ください。

研究テーマ

産学官連携活動活性化に向け大学が持つ機能の抽出

研究分野

●その他

研究キーワード

産学官連携、産学連携、地方創生、地域活性化、地域振興

SDGs

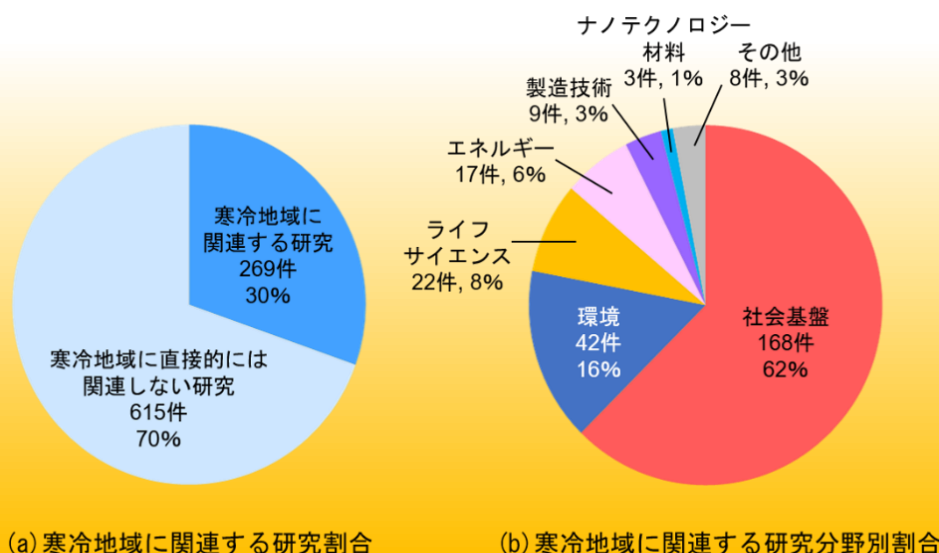


概要

産学官連携は、産業界（産）、大学など学術機関（学）、国・自治体などの行政（官）が、私たちの社会をよりよくするために協力しそれぞれの機能を融合・発揮することです。「産学官連携」活動として、産・学・官との技術的な共同研究の実施や国・地域が必要とする人材の育成、文化の発展への寄与など、幅広い活動が挙げられます。本研究では、産学官連携を構成する「学術機関（学）」に注目し、産学官連携をより活性化させるために有益な大学が持つ機能について、実際の産学官連携活動から明らかにしています。

アピールポイント

例えば、北見工業大学が取り組んでいる産学官連携活動の一つである共同研究の実績を調べることにより、様々なことが分かります。「寒冷地域」に関連する「寒」「冷」「雪」「氷」「凍」「低温」などをキーワードとする研究が全体の30%以上を占めていることが明らかとなりました。この結果は共同研究の推進をはじめ、北見工業大学のすべての活動において「寒冷地」は強みとして威力を発揮するものと期待できることを示しています。また、このような共同研究の解析が、大学の「特徴」であると捉えられる要素を抽出するための良い手法となることを示しています。



共同研究実績から見る大学の特徴解析(北見工業大学を例に)

北見工業大学の共同研究総件数における寒冷地研究の分布(2012～2020年度、9年間の総件数884件)